

めでる



- 2 特集
宿泊研修 in 高島市方面
- 12 実習情報
医学生・看護学生のみなさんへ
- 16 紹介コーナー
滋賀県医師キャリアサポートセンター
- 17 報告
5月30日開催・令和元年度通常総会
- 18 報告
滋賀医療人育成協力機構8年間のあゆみ
- 19 ご入会・ご寄附のご案内／認定NPO法人の寄附金控除について
- 20 家庭医体験学習のご案内／編集後記

Contents

高島市方面での宿泊研修を実施

「高島市方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、3月18日（月）～19日（火）の春季休暇期間を

白鬚神社

びわ湖に浮かぶように建つ朱塗りの鳥居で知られ「近江の叡島」とも呼ばれます。創建から約2000年の歴史を持つと伝えられており、近江最古の神社としても有名。



琵琶湖周航の歌資料館



今津サンブリッジホテル

〔第1部〕講演会・意見交換会

- ・高島市健康福祉部健康推進課 健康推進課主監 水浦久美氏、「湖西地域の医療福祉の現状と課題」
- ・高島市民病院 3階東病棟 「ひとりひとりの多様な課題に対応した切れ目のないケア」

第1部での講演会では、湖西地域産後ケア等の取り組みについて、第2部では、研修先でお世話になった先生方と情報交換を行いました。



特別養護老人ホーム清風荘

林係長から施設の概要について説明を受けた後、2班に別れて施設を見学させていただきました。



私自身特別養護老人ホームを見学させていただくのが初めてでした。利用者さんが暮らしやすいような工夫がたくさんあり、それを支えているスタッフの方の考え等も聞け、学ぶことができました。（看護学科第1学年）



介護職員不足により提供できるサービスを制限せざるを得ないというお話があったことが印象的であった。（看護学科第1学年）

今津病院

岸本理事長よりご挨拶いただき、仁賀事務長から病院の概要について説明いただきました。その後透析センターなど院内を見学させていただき、本学OBの岩城医師より自身の体験を踏まえたお話を聞かせていただきました。また本学OBの吉永看護師とも意見交換を行い、交流を深めました。



高島市は、現在急速に高齢化しており、その意味において高島市は日本の最先端であると言われているそうです。そのため特別養護老人ホームや病室はどこも一杯であり、またお亡くなりになられる方も多くおられます。そのような状況の中で医療従事者は、「高齢者やそのご家族」とどのように接するか、ということが重要になってくると思います。そのため医療従事者は自分なりの死生観について哲学を持ち、それに従い意思疎通や判断を行うことが求められると思います。（医学科第2学年）



高齢化が進んでいるなど地域の特色に合わせた医療体系も知ることができました。多職種が連携して、患者さんを支える仕組みがいちばん印象的でした。（看護学科第1学年）



マキノ病院

森田病院長から病院の概要について説明を受けた後、院内を見学させていただきました。



過ごしました！ 2019/3/18(月)・19(火)

を利用して、宿泊研修を実施しました。本学学生9名（医学生3名、看護学生6名）が参加しました。



藤樹書院跡



働く医療従事者の方々が皆生き生きとしていらっしゃるって、私も将来そのように自分の仕事にやりがいと誇りを持ちながら働きたいと感じました。そして、その思いを実現するための第一歩として、今回学んだ中江藤樹先生の「致良知」という考えを大事にしたいと思います。(医学科第2学年)

四季折々の美しさを感じられるメタセコイア並木や、学問の歴史に触れられる藤樹書院といった魅力的なスポットの多い地域であることを知った。(看護学科第3学年)

等
 主任 課長 青谷光恵 氏
 地域包括支援課 古谷靖子 氏
 の現状と課題」
 看護師長 岡田裕子 氏
 目「ない組織的な支援の必要性」

メタセコイア並木



高島市民病院朽木診療所

増田所長から病院の概要について説明を受けた後、診療所内を見学させていただきました。また、朽木村を案内していただきました。



特別養護老人ホーム心じの里

落川施設長から施設の概要について説明を受けた後、施設を見学させていただきました。



朽木は高島市の中で特に人口減少・高齢化が進んでいることですが、人口が少ないからこそ生まれる濃密な関りは、とても素敵なことだと思います。同時に、朽木に住む人々にとって診療所は欠かせない存在であることを感じ、人口減少が進む中で医療を維持していくことの責任の重みはどれほどのものだろうと思いました。(看護学科第1学年)

病院が3つのみという事に驚きました。しかし、高島市医療連携ネットワークがあるため、各々の担う役割に沿って円滑な連携に繋げ、地域医療を支えておられると学びました。(看護学科第3学年)



高島市民病院

小泉副院長より施設の概要について説明いただきました。本学OBの上野医師からもお話しいただき、施設を見学させていただきました。



今までの実習等では、急性期の病院に行かせていただくことが多く、回復期の病院についてはイメージできないことも多かったですが、しかし今回の宿泊研修では、地域に根ざした回復期の病院も見学に行かせていただき、生活を支える看護とは何かを学ぶことができました。特別養護老人ホームも見学に行かせていただき、看護師として、地域で高齢者の生活を支えるという働き方も良いなと感じることができました。(看護学科第3学年)



医療圏の地域を知り、地域に必要な医療を展開することの重要性を学びました。マンパワーが大幅に不足している今、無駄を省き効率的に質の高い医療を行う必要があると考えました。(看護学科第1学年)



高島市方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

3月18日(月)・19日(火)に、高島市方面を訪問させていただいた春の宿泊研修には、学生9名(滋賀医科大学医学科第2～4学年3名、看護学科第1～3学年6名)が参加しました。

【1日目】

・白鬚神社見学

高島方面へ向かう途中、白鬚神社を訪問しました。琵琶湖に浮かぶ朱塗りの大鳥居が特徴で、世界遺産・厳島神社を彷彿とさせる光景から“近江の厳島”とも呼ばれています。創建は約1900年前で、近江最古の神社とされており、全国にある白鬚神社の総本社ともされています。

皆さん、国道161号線はよく通行するものの、あまり白鬚神社に立ち寄ったことはなかったようで、改めて、その歴史を学ぶとともに、沖島を背景に琵琶湖に浮かぶ大鳥居の景観を写真に納めていました。



・特別養護老人ホーム清風荘にて研修

今回の宿泊研修の最初の研修先として、特別養護老人ホーム清風荘を訪問しました。清風荘では、生活相談員の林様から施設の概要についてお話をいただきました。

清風荘は、社会福祉法人ゆたか会が開設した県下3番目の特別養護老人ホームとして、今津病院との協力体制のもと地域包括ケアネットワークの一端を担っています。

その後、二グループに分かれて、施設内の見学をさせていただきました。施設内は清潔できれいに整理されていて、利用者の方々が気持ちよく利用されているようでした。また、利用者自身の自宅で使用している家具が持込まれており、より自宅の環境に近い状態を実現するよう工夫されている他、利用者の方を移動しやすいように天井取り付けのリフトがあるなど、利用者だけでなく、スタッフにとっても優しい工夫が施されていました。

4階には、食事つきの高齢者マンション「ケアハウスじゅらく」が併設されており、利用者の生活状況に応じたサービスを提供しているとのことでした。



・今津病院にて研修

サンブリッジホテルで昼食をいただいた後、午後からの最初の研修先として、今津病院を訪問しました。今津病院は、里親学生支援事業としては初めて訪問させていただく病院で、湖西地域では唯一の回復期リハビリテーション病棟を開設するなど、高島市、大津市、

長浜市から各疾患の手術後・発症後の患者さんに早期にリハビリテーションを実施し、住み慣れた自宅での療養に繋げることを目標とされています。

あいにく、瀬本院長先生はご不在でしたが、岸本理事長からご挨拶をいただき、仁賀事務長、上松看護部長、前川リハビリテーション室長から、今津病院の概要についてお話をいただきました。

その後、仁賀事務長や上松看護部長の案内で施設の見学をさせていただき、会議室に戻った後に、本学出身の岩城 秀出先生から透析センターの概要や高島市での暮らしについて説明がありました。加えて、本学看護学科卒業生の看護師 吉永さんもお見えいただき、今津病院の看護業務についてお話しいただきました。



・マキノ病院にて研修

国道161号線を北上し、三つ目の研修先であるマキノ病院を訪問しました。

高島市の最北部に位置するマキノ町は、町名がカタカナで表記されることから、北海道のニセコ町と姉妹都市協定を結んでさかんに交流が行われています。

マキノ病院も里親学生支援事業としては初めて訪問させていただく病院で、湖西における最北の病院として、高島市北部の急性期救急医療を守るとともに、高島市民病院や今津病院との連携により、高島市の医療

と地域包括ケアシステムに貢献されています。

研修に際し、森田病院長から病院の概要や特色についてお話をいただいた後、院内を詳しく見学させていただきました。最後に、4月から本学出身の西村彰一先生を新病院長に迎えることになったとの紹介があり、外科の専門医として地域医療に一層の貢献が期待されると喜んでおられました。



・メタセコイア並木の見学

マキノ病院を辞して、平成6年、読売新聞社の「新・日本街路樹百景」に選定されたメタセコイア並木を見学しました。

まっすぐ伸びた県道小荒路牧野沢線の両側には、延長約2.4kmにわたりメタセコイアが約500本植えられ、その景観はととても雄大なものでした。季節的にはあい



にくの時期でしたが、初めて訪れた学生もいてその並木の長さ感激していました。



・交流会

夕方は、宿泊先の今津サンブリッジホテルにおいて交流会を開催しました。

交流会第1部では、高島市健康福祉部健康推進課青谷 光恵 課長から挨拶があり、健康支援課の水浦 久美 主監と、地域包括支援課の古谷 靖子 主監から、「湖西地域の医療福祉の現状と課題」と題し、高島市民病院 岡田 裕子 看護師長から「ひとりひとりの多様な課題に対応した切れ目のない組織的な支援の必要性」と題してご講演いただきました。



交流会第2部では、訪問先の関係者の方々や地域の方、里親の方々もご参加いただきました。特に、自治医科大学出身で、現在高島市民病院で初期研修を行っておられ、これまで数多く里親学生支援事業に参加していただいた八坂先生も参加していただき、大いに盛り上がりました。

訪問先の先生方からは、「高島市は自然に恵まれた風光明媚な土地であり、気持ちのやさしい住民の方も多く、是非卒業後は湖西地域の医療活動に貢献していただきたい!」といった期待の声も寄せられ、和やかな意見交換、懇談の場となりました。

【2日目】

・琵琶湖周航の歌資料館を見学

宿泊研修2日目は、宿泊先の今津サンブリッジホテルを出発し、「われ～は湖の～子～♪」で知られる「琵琶湖周航の歌」の発祥の地である今津町の「琵琶湖周航の歌資料館」を見学しました。

琵琶湖周航の歌は、加藤登紀子さんが歌われて国民的に親しまれていますが、資料館の方の説明を受けて歌の由来について知ることができました。

・藤樹書院跡の見学

続いてバスは安曇川町まで南下し、人々をひとしく愛した近江聖人 中江藤樹が庶民のために開いた日本

最初の私塾「藤樹書院」を訪問し、江戸の儒学者 中江藤樹の生涯や教えについての説明を伺いました。



・特別養護老人ホームふじの里にて研修

研修2日目の最初の研修先として、特別養護老人ホーム ふじの里を訪問しました。ふじの里は、平屋建ての広い敷地の中に、「ふじの里ショートステイ」、「ふじの里デイサービスセンター」、「ふじの里ケアプランセンター」、「ふじの里なごみの家」と利用者のニーズに合わせた施設が併設されており、それぞれ清潔できれいに保たれた施設の中で、利用者の皆さんはいきいきと生活されておられます。

訪問に際して、落川施設長から地域の現状や施設の概要についてのお話があり、引き続き施設内を見学させていただきました。見学後は、施設長から改めて入所者の状況や施設の特徴、工夫を凝らした介護活動、利用者が楽しく交流する様々なイベントの実施についてお話がありました。

また、看護師・介護士・生活相談員など現場で働く職員から、それぞれのお立場でのお話を聞くことができました。

皆さんの努力による質の高いサービスの提供は、平成30年度の介護サービス満足度調査でも高い評価を受けておられました。



・高島市民病院朽木診療所にて研修

道の駅藤樹の里あどがわで昼食をとった後、本日二つ目の研修場所である「朽木診療所」に向かいました。安曇川町から一つ山を越え安曇川沿いにバスを進めると、迂りが急に開けて旧朽木村に入り、その中心地に朽木診療所はありました。診療所は高島市内産のスギ・ヒノキをふんだんに利用した木の温もりを感じられる木造平屋建てで、その中で、自治医科大学出身の増田 翔吾 先生が待っててくださいました。

朽木診療所は高島市民病院朽木診療所に改組され、増田先生から、外来診療、訪問診療、往診などの診療所での診療の状況や、地域の特徴について熱心に説明していただきました。

その後、施設内と診療所周辺を散策し、朽木地域の自然に触れるとともに、珍しい建築物などを見学しました。





・高島市民病院にて研修

今回の宿泊研修の最後の研修先として、湖西地域の中核病院である高島市民病院を訪問しました。

最初に小泉副院長から歓迎のご挨拶をいただき、続いて本学出身の上野 哲 内科部長から、湖西地域における高島市民病院の概要と役割についてお話をいただきました。さらに、病院事業管理者の高山 博史 先生から、これからの医療に求められることや若い医師への期待について、熱くお話しいただきました。

その後、上野先生、小谷看護部長、本学出身の松岡先生のご案内で、機能的できれいに整理された外来や検査室、そして清潔な病棟などを見学させていただきました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、地元の方々の暖かな人柄に触れながら、この素晴らしい湖西地域で地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

宿泊研修に参加して(学生の声)

滋賀医科大学 医学科第2学年 井上 愉理靖

今回高島市の医療現場を見学し3つのことを学びました。

1つ目は、横断的で包括的な医療施設間の協力の必要性です。

人口5万人程ではあるが面積の広い高島市では、3つの病院がそれぞれの異なる医療圏と得意とする医療分野の選択と集中を行うなどして、人口密度の低い高島市でも質の高い医療を提供できていました。このように3つの病院が競合することなく、相互に協力することで高島市の高度な医療が支えられていることがわかりました。

2つ目は、死生観について考える重要性です。

高島市は、現在急速に高齢化しており、その意味において高島市は日本の最先端であると言われているそうです。そのため特別養護老人ホームや病室はどこも一杯であり、またお亡くなりになられる方も多くおられます。そのような状況の中で医療従事者は、「ご高齢者やそのご家族」とどのように接するか、ということが重要になってくると思いました。そのため医療従事者は自分なりの死生観について哲学を持ち、それに従い意思疎通や判断を行うことが求められると思いました。

3つ目は地域社会の尊さです。

高島市は過疎地域であり、若者が少なく、故に介護スタッフも充分でないという問題があります。この高島市の現状は、今後日本全国で見られることが予想されます。増え続ける要介護の高齢者を介護する人は日本各地で取り合いになるでしょう。その時、精神的にも肉体的にも過酷な介護する人を暖かく受け入れて、彼らを支える地域のコミュニティが、介護を行う人が長く働く決め手となるのではないかと感じました。

滋賀医科大学 医学科第2学年 清原 華也

今回は高島市における人々の生活、医療の一部分を見させて頂きました。働く医療従事者の方々が皆生き生きしていらっしやって、私も将来そのように自分の仕事にやりがいと誇りを持ちながら働きたいと感じました。そして、その思いを実現するための第一歩として、今回学んだ中江藤樹先生の「致良知」という考えを大事にしたいと思います。これは、人は誰も生まれながらに美しい心を持っており、その心を磨きつづけることが大切であるという考えだったと思います。医師として患者さんと関わっていく中で、どの道を選ぶのか選択に迷うことも多いと思います。そのときにできるだけ患者さんにとってより良い選択肢は何かを考えられるように、日々人間性を高めていきたいと強く感じます。自分の魂を磨き続ける生き方は、「医師」としてというよりも「人」として追い求め続けるべきものであると考えます。

里親研修旅行でお世話になった皆様、ありがとうございました。

滋賀医科大学 医学科第4学年 大東 親生

高島は天津の瀬田より遠しと言えども上古の昔は延喜式内社数多く、鯖街道の人を運ぶことしばしばであったのは世間に著名のことです。今回参りまして水清く山麗しい豊かな土地に心喜ぶこと一方ならず、近つ淡海にかいつぶりの遊ぶ様、朝日の湖面に散乱したるもいとどしくけざやかにて天下に二無き優れた景色と感じ入りました。

その天然自然は人の心をも写すものやらん、高島は見る者も患ふ者も穏やかなる様、さはあれど高島を医療の先進的現場として心身打ち込まれることの熱意甚だしく情熱と冷静との同居せるはまことにありがたき心ばえにて医王薬師の御加護これぞあるべきや、うわべ数字の乾いた優秀ならぬ、まことの医療

宿泊研修に参加して(学生の声)

を観じたる心地こそすれ。

我痴愚なり、劣等の学生なりと言えども心修めて人に扶け、我と我が身の救いを乞わんとは元よりの願いなればかかる求道の清心に我が腐心うち震え意新たならしむ。日野原先生のたまはく何歳になっても手本これあるべしと。生きる道の上にては惑うこと多し、まいてせばき舎に居て数字をのみ争はばいよいよこころもとなし。人と逢ふこそ修行なれ。藤樹先生の美風、比良の社、何一つつくしからぬは無く、一柳米来留先生のがりらや丸を出だして近江八幡より宣教に来給いしも今津とかや。

天然自然が人に道を教へ、道を求める人が他人を感化せしむるが誠の教育ならずや。かかる研修こそ教育とは申さざるべからざるや。

ニュケーションや看護技術も大切であると改めて感じ、これからの学習意欲につながりました。

また、湖西地域の医療の実際を学び、これからの高齢化社会に向けた的確な医療とはなにかについても学ぶことができました。

医療圏の地域を知り、地域に必要な医療を展開することの重要性を学びました。マンパワーが大幅に不足している今、無駄を省き効率的に質の高い医療を行う必要があると考えました。

今回も美味しい地域のご飯を味わうことができ、とても満足でした。ありがとうございました。次回も参加したいです。

滋賀医科大 看護学科第1学年 池田 はるか

今回の研修旅行では特別養護老人ホームの見学が一番印象に残っています。私自身特別養護老人ホームを見学させていただくのが初めてでした。利用者さんが暮らしやすいような工夫がたくさんあり、それを支えているスタッフの方の考え等も聞け、学ぶことがたくさんありました。

また、高齢化が進んでいるなど地域の特色に合わせた医療体系も知ることができました。多職種が連携して、患者さんを支える仕組みがいちばん印象的でした。

滋賀医科大 看護学科第1学年 米澤 瑞乃

今回で2回目の参加となりました。前回の長浜での研修と同様、大学内の机上の勉強では味わえないことを体験することができました。

病院見学では、実際に働いている医療人の姿を見て、現場の緊張感であったり、お互いに情報伝達をしている姿を見たりしました。今やっている机上の勉強も大切ですが、コミ

滋賀医科大 看護学科第1学年 上田 歩里

私は、今回初めて里親の宿泊研修に参加させていただきました。ずっと滋賀に住んでいますが、湖西地方へはあまり縁がなかったので、藤樹書院跡やメタセコイヤ並木の見学では私の知らない滋賀県の魅力を発見でき、とても新鮮に感じました。

今回の研修での訪問先で最も印象に残っているのは、朽木診療所の見学です。診療所唯一の医師である所長の増田さんのお話では、診療所に赴任した時に朽木に住む方々が歓迎会を開いてくれたり地域の行事に参加したりと、そこに住む人たちとの濃い関わりを持っていることを聴きました。朽木は高島市の中で特に人口減少・高齢化が進んでいるとのことですが、人口が少ないからこそ生まれる濃密な関りは、とても素敵なことだと思いました。同時に、朽木に住む人々にとって診療所は欠かせない存在であると感じ、人口減少が進む中で医療を維持していくことの責任の重みはどれほどのものだろうと思いました。また、高島市内の三病院を訪問し、それぞれの病院の役割やどのように連携し合っている

宿泊研修に参加して(学生の声)

のかを学び、高島市の医療を知ることができました。

訪問先の方々、地域の方々、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

滋賀医科大 看護学科第3学年 服部 友里亜

今までの実習等では、急性期の病院に行かせていただくことが多く、回復期の病院についてはイメージできないことも多かったです。しかし今回の宿泊研修では、地域に根ざした回復期の病院も見学に行かせていただき、生活を支える看護とは何かを学ぶことができました。特別養護老人ホームも見学に行かせていただき、看護師として、地域で高齢者の生活を支えるという働き方も良いなと感じることができました。

今回の宿泊研修で行かせていただいた高島市は、穏やかな方が多く、人々の温かさを感じることができました。また、高島市は医療資源や人手不足の問題が滋賀県内でも深刻な方であるということでしたが、高島市の医療や福祉関係の職種の方々は、誇りを持って活動されているということが特に印象に残っています。問題は深刻であっても、地域の強みをいかしながらよりよい医療や福祉が提供できるように、努力されておられるのを感じました。

今回の研修でもたくさん学ばせていただき、有意義な研修となりました。ありがとうございました。

滋賀医科大 看護学科第3学年 池野 茜

今回の宿泊研修は私にとって初めての高島方面であり、病院が3つのみという事に驚きました。しかし、高島市医療連携ネットワークがあるため、各々の担う役割に沿って円滑な連携に繋げ、地域医療を支えておられると

学びました。そして、高齢化率も高い事から診療所や特別養護老人ホーム、訪問看護など福祉や在宅に密着した連携や環境作りがなされていると分かりました。医療における人材が不足しているや高齢化といった課題がありますが、地域の自然や文化の見学をさせて頂き、高島市の魅力をたくさん感じる事が出来ました。私もこの滋賀県という地域に根ざした医療人になろうと思います。ありがとうございました。

滋賀医科大 看護学科第3学年 丸山 晃帆

彦根生まれ彦根市育ちの私にとって、高島市は琵琶湖を挟んで対岸にある未知の土地という印象を抱いていた。しかし、今回の研修を通して、四季折々の美しさを感じられるメタセコイア並木や、学問の歴史に触れられる藤樹書院といった魅力的なスポットの多い地域であることを知った。

研修では、病院、診療所に加え、特別養護老人ホームの見学もさせていただいた。その際に、介護職員不足により提供できるサービスを制限せざるを得ないというお話があったことが印象的であった。また、見学させていただいた病院のほぼ全ての入院患者さんが高齢者の方であったのも非常に印象に残っている。高島市では、高齢者に対する医療、介護の需要が非常に高いが、供給がそれに追いついていないという現状があると実感した。それと同時に、今後は、どの地域でも高島市と同様に高齢化が進行し、地域の医療、介護をどのように維持していくかという問題に直面するのだろうと考えた。高齢化が進む地域の医療や介護を支えていくうえで看護師はどんな役割を担うことができるのだろうと考えるきっかけとなる研修であった。

医学生・看護学生のみなさんへ

滋賀県内の病院から寄せられた実習情報・病院見学・インターンシップなどの開催情報です。ぜひご活用ください。

ホームページ<http://www.shiga-iryō-ikusei.jp/gakusei/index.htm>でも最新情報をご確認いただけます。

◆ 医学生のための「病院研修・実習・見学」

病院名・機関名					
対象者 学年等	実施内容	日程 開催期間	申込時期	連絡先	
市立長浜病院					
全学年	病院見学 各診療科見学、救急外来見学、 院内案内等	応相談(半日～1週 間程度)	随時受付・ 随時実施	総務課 0749-68-2324	
近江八幡市立総合医療センター http://www.kenkou1.com/					
第4学年～ 第6学年	病院見学 (各診療科見学等)	随時(応相談)	随時	0748-33-3151	
社会医療法人誠光会 草津総合病院 http://www.kusatsu-gh.or.jp/					
全学年	病院見学、各診療科見学	随時(応相談) 休 み時の一週間程度 の長期見学も可	随時	臨床研修事務局 077-563-8866(代)	
医療法人社団 弓削メディカルクリニック 滋賀家庭医療学センター http://yugemed.com/					
全学年	外来・在宅医療・通所リハビリ テーション他	随時(平日)	随時	yugemed@gmail.com	
滋賀県立精神医療センター http://www.med.shiga-pref.jp/pmc/					
第6学年	1回につき学生1人。精神科医 の診療に3日間ずっとついても らいます。その間に協議も。	随時、相談 3日間連続を、年3 回程度(計3人)	随時	077-567-5001	
滋賀県立小児保健医療センター http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/					
第5・6学年	外来診療、処置、手術等の見学	随時、応相談	随時	事務局 077-582-6200(代) div-manage@mccs. med.shiga-pref.jp	

病院名・機関名					
対象者 学年等	実施内容	日程 開催期間	申込時期	連絡先	
大津市民病院 http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/					
第4、5学年	研修医のエスコートのもとに病院研修を体験してもらう	研修日数は1～5日とし、複数の週にまたがらないこと（詳細は当院ホームページをご覧ください）	ホームページ参照のこと	病院総務課 臨床研修担当 077-526-8516（直通）	
彦根市立病院 http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp/					
全学年	診療科見学、施設見学等	随時（平日）	随時	職員課 0749-22-6050	
医療法人 仁生会 甲南病院 http://www.kohnan-shiga.or.jp					
全学年	病院見学	随時	随時	人事課 0748-86-5534 personnel@kohnan-shiga.or.jp	
一般社団法人 水口病院 http://www.minakuchi-hp.or.jp/					
全学年	病院及び関連施設見学（希望の見学場所があれば対応します。）	応相談・随時	随時受付・随時実施	事務長 崎山明生 0748-62-1212(代表)	
滋賀県立総合病院					
全学年	病院見学	随時	随時	総務課 077-582-8033(直通)	
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 http://www.vories.or.jp/					
全学年	病院見学	随時	随時	事務長 澤谷久枝 0748-32-5211	
長浜赤十字病院 http://www.nagahama.jrc.or.jp/					
全学年	病院見学 ・各診療科を希望に応じて見学。救急科部の当直も見学可。 ・交通費及び宿泊費の助成あり。	・随時 ・秋と春に病院説明会を開催	随時	経営企画課 0749-63-2111(代) resident@nagahama.jrc.or.jp	
甲賀市立信楽中央病院 http://www.city.koka.lg.jp/sch/					
全学年	診療見学・出張診療・訪問診療	随時(6月～11月)	随時	0748-82-0249	
済生会滋賀県病院 http://www.saiseikai-shiga.jp/					
第5・6学年	希望科の外来診療、処置、手術等、ご要望をお伺いして調整いたします。また、当直や研修医のモーニングカンファレンスもご希望があれば見学いただけます。	見学につきましては、随時受け付けております。	見学希望日の概ね2週間前	総務課 077-552-1221	

◆ 看護学生のための「病院研修・実習・見学」

病院名・機関名					
対象者 学年等	実施内容	日程 開催期間	申込時期	連絡先	
独立行政法人 国立病院機構 紫香楽病院 http://nho-shigaraki.jp					
全学年	①病院見学 (看護課紹介、病棟見学) ②インターンシップ (希望病棟の看護体験)	①随時 (土、日対応可) ②随時(平日)	随時	0748-83-0101	
市立長浜病院					
全学年	インターンシップ 病棟見学実習、 介護技術見学、 先輩看護師との座談会		随時	看護科長室 0749-68-2300 (内線2222)	
	病院見学&説明会 看護師募集について、先輩看護師の話など		随時		
近江八幡市立総合医療センター http://www.kenkou1.com/					
助産師・看護師として就職希望者	病院見学・インターンシップ	随時(応相談) ホームページにて案内	随時	総務課 0748-33-3151	
社会医療法人誠光会 草津総合病院 http://www.kusatsu-gh.or.jp/					
全学年	病院見学、インターンシップ	随時(応相談)	随時	看護部 077-516-2489(直通) kango@kusatsu-gh.or.jp	
訪問看護ステーションゆげ http://yugemed.com/					
全学年	訪問看護・在宅療養を支える様々なサービスについて	随時 (平日の2~3日間)	随時	yugemed@gmail.com	
医療法人社団阿星会 甲西リハビリ病院 http://www.kousei-rh-hp.or.jp/					
全学年	病院見学	随時 応相談	随時	0748-72-2881 info@kousei-rh-hp.or.jp	
滋賀県立精神医療センター http://www.med.shiga-pref.jp/pmc/					
①全学年 ②2~4年生 ③3~4年生	①病院見学 ②就職説明会 ③インターンシップ	①随時 ②6月頃 ③7~9月末	①随時 ②前日まで ③随時	077-567-5001	
滋賀県立小児保健医療センター http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/					
大学生3・4年生、専門学校生2・3年生	病院見学・説明会 インターンシップ	随時(ホームページで案内) 応相談	随時(ホームページで案内)	看護部 077-582-6200(代) div-nur@mccs.med.shiga-pref.jp	
市立大津市民病院 http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/					
全学年	病院看護局紹介、希望部署見学、先輩看護師の話など		随時	看護局 教育担当 077-522-4607 (内線 6140)	

病院名・機関名					
対象者 学年等	実施内容	日程 開催期間	申込時期	連絡先	
彦根市立病院 http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp/					
全学年	病院看護部紹介、施設見学、 新人教育紹介	随時（平日）	随時	看護部 0749-22-6050	
医療法人 仁生会 甲南病院 http://www.kohnan-shiga.or.jp					
全学年	病院見学（施設見学） 看護部紹介 新人教育紹介	随時	随時	人事課 0748-86-5534 personnel@kohnan-shiga.or.jp	
一般社団法人 水口病院 http://www.minakuchi-hp.or.jp/					
全学年	病院及び関連施設見学 （希望の見学場所があれば対応 します。）	応相談・随時	随時受付・ 随時実施	0748-62-1212(代表)	
滋賀県立成人病センター http://www.pref.shiga.lg.jp/e/seijin/					
大学4回生、 専門学校3 年生	インターンシップ 病院見学	随時	随時	看護部 077-582-5031	
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 http://www.vories.or.jp/					
全学年	病院見学（看護部紹介）	随時	随時	看護部長 岡田幸子 0748-32-5211	
長浜赤十字病院 http://www.nagahama.jrc.or.jp/					
3～4学年	①インターンシップ ②病院説明会	随時	随時	看護部 0749-63-2111(代) nurse@nagahama.jrc. or.jp	
済生会滋賀県病院 http://www.saiseikai-shiga.jp/					
全学年	①病院見学、募集要綱説明 ②インターンシップ （希望の部署での看護体験） 先輩看護師との昼食会	①随時 ②3月・6月	※開催日時につ いては、病院 ホームページ に随時掲載し ます	看護部 077-552-1221	
湖東記念病院 http://www.koto-hp.jp/					
全学年	病院見学 （看護部紹介、施設見学）	通年、随時	随時	看護部 0749-45-5000(代)	



滋賀県医師キャリアサポートセンター

(滋賀県地域医療支援センター) 当センターは滋賀県健康医療福祉部 医療政策課と滋賀医科大学医学部附属病院に設置し、滋賀医科大学医学部附属病院には専任医師を配置しています。

先輩医師との懇談会

医師としてのキャリアアップや、仕事を続けていく上での色々な悩みなどを相談できる場として開催しています。自由参加ですので、ご興味のある方は、ぜひご参加下さい。

【平成30年度（第4回）】
平成30年12月11日（火）18:00～
講師：麻酔科 赤澤 舞衣先生
テーマ：「麻酔科医という選択」



・診療科の選択の過程が良く分かりました。
・麻酔科のお話だけでなく、初期研修の選び方や学生時代のお話も聞いて良かったです。
・自分に合う条件から研修先を絞り込んでいかれた印象が強く、キャリア選択の参考になりました。

学生の感想

【平成30年度（第5回）】
平成31年1月17日（木）18:00～
講師：眼科学講座 助教 南川 貴之先生
テーマ：「15年目の眼科医-私のキャリアパス」



・キャリア選択のメリット・デメリットがよく分かりました。
・卒業後の医師のキャリアパスについて、アンケートなどのデータを含め、知ることが出来ました。
・今後のキャリアパスについて、気軽に質問することが出来て、大変有意義でした。

学生の感想

第8回滋賀県女性医師交流会

「どこで、どんなキャリアを磨くか！」を開催しました。

日時：2019年11月30日（土）
会場：ロイヤルオークホテル スパ&ガーデンズ
参加対象者：女性医師・男性医師、研修医、医学生、病院関係者 他
主催：滋賀県女性医師ネットワーク会議



今年度は、5名の幅広い年代の医師の方々にパネリストとしてお話いただきました。後半の総合討論では、県内の病院に向けて調査しました「働き方改革等への取組みに関するアンケート調査」の報告や病院長から「働き方改革への各病院の取組み」を発表していただきました。また、今回の交流会は、若手医師や医学生の参加が多く、将来像を描く上での悩みや先輩医師に求めることなど活発な意見交換が行われました。



国立大学法人 滋賀医科大学
生化学・分子生物学講座（再生・修復医学部門）特任助教
大橋 夏子先生
演題：「卒後11年～診療しつつ、研究しつつ、子育てしつつ～」



独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院
外科
辰巳 征浩先生
演題：「卒後4年～女性医師の中での男性医師の主張～」



日本赤十字社 大津赤十字病院 第三外科部副部長
洲崎 聡先生
演題：「卒後30年～気がつければ、30年外科医やっています～」



社会医療法人 誠光会 草津総合病院 病理診断科 部長
竹村 しづき先生
演題：「卒後20年～病理医としてキャリアをみがく～」



日本赤十字社 大津赤十字病院
外科
松林 潤先生
演題：「卒後12年～常勤夫妻の子育てあるある～」



お問い合わせ先 滋賀県医師キャリアサポートセンター

滋賀医科大学オリティマネジメント課内（附属病院 3階）

住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 TEL：077-548-3656 E-mail：ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp

5月30日開催・令和元年度通常総会

正会員の方々（正会員123名のうち119名が出席　うち表決委任者108名）に出席いただき、次の審議事項を承認いただきました。

1.平成30年度事業報告および決算報告

2.令和元年度事業計画および予算計画

3.定款の一部改正について

現行の定款では「理事及び監事の選任は、総会において理事長及び副理事長の選出は、理事の互選」となっていますが、今回の改正により、理事長及び副理事長も総会において選出することになります。

4.認定特定非営利活動法人としての有効期間の更新について

認定特定非営利活動法人としての有効期間が、平成31年3月12日で終了となるため有効期間更新の申請書類を滋賀県に提出し、平成31年（2019年）3月13日から令和6年（2024年）3月12日までの5年間の更新が認められました。



滋賀医療人育成協力機構 8年間のあゆみ

平成23年（2011年）7月4日に設立しました滋賀医療人育成協力機構は、今年7月で丸8年を迎えます。この間多くの方々のご理解とご支援により活動を続けられました。有り難うございます。

この8年間をご協力いただいた方々の人数と、その支援金で振り返りますと、下の表のようになります。

年度	正会員数	会費総額	賛助会員数	会費総額	寄付者数	寄付総額	年間額
平成23年	104	1,760,000	53	413,000	9(9)	525,000	2,698,000
24年	131	578,000	81	461,100	145(14)	2,284,000	3,323,100
25年	124	430,000	44	188,930	147(23)	2,207,000	2,825,930
26年	133	465,000	52	241,000	167(34)	2,402,000	3,108,000
27年	116	423,000	17	73,000	138(22)	2,173,170	2,669,170
28年	108	281,000	33	636,000	154(46)	2,179,000	3,096,000
29年	108	321,000	28	132,000	141(33)	1,888,000	2,341,000
30年	80	202,000	33	168,000	130(50)	1,745,870	2,115,870

寄付者数が、平成24年度から急激に増加した理由は、認定特定非営利活動法人になれる認定条件には、年間100名以上の寄付者の方々がいることが必要です。そこで平成24年総会において定款を次のように改正しました。

正会員の年会費は
 個人の場合：会費2000円＋寄付金3000円以上
 団体の場合：会費5000円＋寄付金5000円以上

定款を改正したことで、毎年100名以上の方々から寄付金をいただくことができ、認定特定非営利活動法人として認定していただきました。これも皆様のご理解とご協力のお陰です。

表からは、ここ数年正会員数は減少傾向にありますが、一般市民等の寄付者が増えていることがわかります。寄付者数欄のカッコ内の数値が正会員でない寄付者の人数です。

今年の総会では、病院や地方自治体、県内企業の方々にもっと応援いただくように活動を進めていくことが決まりました。これからも皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

入 会 ・ ご 寄 附 の ご 案 内

滋賀医療人育成協力機構は、地域の皆さまと共に地域医療を担う医学生看護学生の育成支援を行うとともに、滋賀県の医療福祉の向上に寄与することを目的に設立し、皆さまからの会費とご寄附を財源として、活動しております。

会員は、正会員（年会費を納める・総会での決議権がある）と、賛助会員（1,000円以上を納める・総会での決議権がない）に分かれています。

会員の種類		会 費	入会金 (初年度のみ)
正 会 員	個 人	年会費 2,000円 + 寄附金 3,000円以上	5,000円
	団 体	年会費 5,000円 + 寄附金 5,000円以上	10,000円
賛助会員		毎年 1,000円以上 できたら 3,000円以上	

寄附金は随時受付けています

寄附金額は決まっていますが、できたら認定NPO法人としての基準を満たす3,000円以上をお願いします。

入会や寄附に関するお問い合わせは、機構事務局（077-548-2802）までご連絡ください。

認定NPO法人の寄附金控除について

認定NPO法人（滋賀医療人育成協力機構）に寄附をした場合、寄附金控除等の税の優遇措置を受けることができます。

ご寄附または、賛助会費をご入金された方には「寄附金の受領書」を郵送しますので大切に保管いただき、確定申告時には、「申告書」に「寄附金の受領書を」を添え最寄りの税務署にご提出ください。

なお、詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

『家庭医体験学習』への参加者を募集します

県内各地で働く医師の働きを医学生に体験してもらう「体験学習」を、滋賀県出身自治医科大学同窓会「さざなみ会」とともに応援しています。

残念ながら、昨年度は参加希望者がおられませんでした。

「体験学習」では、通年体験希望学生を募っていますので、「体験学習」に興味がある方はお気軽に、滋賀医療人育成協力機構事務局にご連絡ください。



毎号12,000部発行する めでる誌上に、
貴病院や企業からのメッセージを載せませんか！

ご希望の方は、滋賀医療人育成協力機構にお問い合わせください。



編集後記

季節の変わり目に体調を崩し近所の医院で診察を受けました。受診までの待ち時間に待合室の展示コーナーに目を向けると、機構誌「めでる」が片隅に展示されているのを見つけうれしくなりました。どうぞ、多くの患者さんの目に留まりますように…

今年の総会には、役員のほか一般市民の方4名が参加いただきました。一般市民の方々の口振りから、皆様の心の温かさを感じることができ、心温まる穏やかな総会となりました。遠路総会にご出席いただき本当にありがとうございました。

応援くださる皆様の心意気と同様、この機構の活動も心温まる活動であるように努めて参ります。これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。



NPO法人滋賀医療人育成協力機構 広報誌「めでる」vol.16

発行：2020年3月

編集：NPO法人 滋賀医療人育成協力機構

所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学内

TEL：077-548-2802 FAX：077-548-2803

Email：satooya@belle.shiga-med.ac.jp

URL：http://www.shiga-iryo-ikusei.jp/